

- 【日時】 令和5年6月6日(火) 10:00~16:00  
 【場所】 一橋大学一橋講堂 ・ オンラインでの同時配信を実施  
 【テーマ】 持続可能な医療保険制度を目指して  
 【講演】

<午前部>

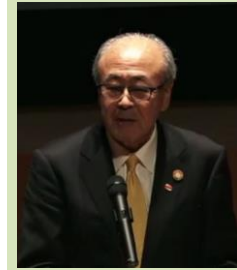
### ●外部有識者を活用した委託研究第Ⅱ期 中間報告

- ① 摂南大学 農学部 食品栄養学科 公衆衛生学教室 教授 小川 俊夫  
「生活習慣病の疾病別医療費の地域差に関する研究」
- ② 東北大学 災害科学国際研究所 災害医療情報学分野 准教授 藤井 進  
「支部単位保険料率の背景にある医療費の地域差の要因に関する研究」
- ③ 岩手医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座 教授 丹野 高三  
「機械学習を用いた生活習慣病の治療行動予測モデルの構築」
- ④ 東京大学大学院 経済学研究科 教授 飯塚 敏晃  
「予防医療が本人と家族に及ぼす効果に関する研究」
- ⑤ 京都大学大学院 医学研究科 特定准教授 井上 浩輔  
「メンタル疾患・生活習慣病の発症リスク削減、医療費適正化に向けた機械学習予測モデルの構築と因果推論」

(進行) 全国健康保険協会 理事 岡村 智教

### ●協会けんぽ調査研究報告

- ① 長野支部 「健診機関による早期受診勧奨の状況調査」
  - ② 三重支部 「特定保健指導における行動変容と個人特性(性格)との関連性」
  - ③ 静岡支部 「バイオ医薬品の使用実態と後続品差額通知基準の検証」
- (講評) 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任准教授 井出 博生



安藤理事長



小川教授



藤井准教授



丹野教授



飯塚教授



井上特定准教授



長野支部



三重支部



静岡支部

<午後の部>

●外部有識者を活用した委託研究第Ⅰ期 最終報告

- ①慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 教授 勝川 史憲  
「機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と特定保健指導の  
効果判定に関する研究」
- ②国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
グローバルヘルス政策研究センター センター長 磯 博康  
「生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による予防効果に  
関するコホート研究」
- ③上智大学 経済学部 教授 中村 さやか  
「医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明:健康状態と治療の質を  
考慮した医療費適正化を目指して」
- ④京都大学大学院 医学研究科 准教授 福間 真悟  
「エビデンスに基づく保険者機能の強化:ラーニング・ヘルスシステム」

(進行)全国健康保険協会 理事 岡村 智教

(コメンテーター) 慶應義塾大学 経営管理研究科 教授 後藤 励

●総合討論

「協会けんぽ加入者の健康度の向上に向けて」

(討論者) 慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 教授 勝川 史憲

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

グローバルヘルス政策研究センター センター長 磯 博康

上智大学 経済学部 教授 中村 さやか

京都大学大学院 医学研究科 准教授 福間 真悟

慶應義塾大学 経営管理研究科 教授 後藤 励

全国健康保険協会 理事長 安藤 伸樹

(進行) 全国健康保険協会 理事 岡村 智教



<ポスター発表>

- ①北海道支部 「歯周疾患と生活習慣病の関係に係る研究(5年度目)」
- ②青森支部 「大腸がん検診及び精密検査受診ががん医療費に与える影響」
- ③秋田支部 「秋田県トラック協会とのコラボヘルス事業の事業評価」
- ④富山支部 「遠隔面談を活用した初回面談の分割実施」
- ⑤奈良支部 「健診受診の可否及び継続性に関する要因分析と効果的な勧奨方法の検討(第3報)」
- ⑥宮崎支部 「宮崎支部の医療費の特徴について(2019年度)」
- ⑦本 部 「協会けんぽ被保険者の健診結果12年間の推移」

【会場参加者】 172名(外部参加者66名、協会職員106名)

【オンライン再生回数】 1373回(令和5年7月12日現在)

【アンケート結果】 回答数:84名(会場参加者が対象)

#### ○ フォーラム全体の感想について

	非常に有意義	有意義	あまり意義なし	意義なし	計
人数	39	45	0	0	84
割合	46.4%	53.6%	0%	0%	100%

- ・ 今回初めて対面での調査研究フォーラムに参加させていただきました。非常に有意義かつ協会けんぽの意図が大いに伝わるフォーラムでした。
- ・ 有意義なフォーラムだと思うが、参加者が少ないように感じました(会場では)。せっかくの機会なので、もう少し広く知らせて参加者を増やすよう工夫されると良いのではないかと思います。オンラインの取り組みは良いと思う。
- ・ 一つ一つの発表は有意義ではありましたが、全体としての時間が少し長いように感じました。

#### ○ 委託研究発表等へのご意見

- ・ いろんな立場での発表があり、大変興味深い。データ利活用の促進に向け、もっと様々な(民間企業等の活用)も含め、取り組みの拡大を期待する。
- ・ 専門の異なる先生方が共通したデータや目的をもって分析や研究をされているので、研究の進め方アプローチなどが興味深く専門学会よりも面白く感じた。このような研究や発表の場がもっと広まるとよいと思った。
- ・ 発表時間が短いと研究そのものよりプレゼンの評価になるので、もっと発表時間があるとよいと思った。

#### ○ 支部発表へのご意見

- ・ 貴重な体験の機会をいただきありがとうございます。日本の医療保険制度の将来のために、貴会の活動をよく理解することができました。ほかの支部の活動状況も御報告いただける場があると嬉しいです。
- ・ 支部による発表の時間をもう少し増やしてほしい。
- ・ 委託研究と協会けんぽ報告は、分けて開催をすればより良いのではないかと感じた。

#### ○ 総合討論へのご意見

- ・ 総合討論ももっと長くして欲しい。大変興味深く聞きました。
- ・ 総合討論が興味深く、時間をもう少しとったほうが良いのではと思いました。様々な方々と総合討論ができると更にいい方向に向かうと思います。